

当院の協力病院(連携医療機関)紹介 第22回

はしもと泌尿器科 皮フ科 院長 橋本 純一

診療科目

泌尿器科・皮膚科

外来受付時間

9:00 ~ 12:00	月	火	水	木	金	土	日
	○	○	○	○	○	○	○
15:00 ~ 18:30	月	火	水	木	金	土	日
	○	○	○	○	○	○	○

※土曜日 9:00～13:00 まで

休診日

日曜日、祝日、水曜日、土曜日午後



所在地

〒510-0891 四日市市日永西5丁目17番1号
TEL 059-348-7800



当院は平成18年に日永西5丁目に泌尿器科・皮膚科を開業して10年になります。昭和58年に名古屋大学医学部を卒業し、大学院、勤務医時代を経て卒後24年目での開業となりました。愛知県内での勤務が長かったのですが、市立四日市病院に一時在籍し、また、三重県出身でもありこの地に開業しました。

現在、スタッフは、看護職3人、看護助手1人、事務職3人の体制で診療をおこなっています。

診療は、一般泌尿器科・皮膚科の診察治療ですが、他科領域の患者さんも来院されます。当院での検査治療が困難な場合、県立総合医療センターおよび他の総合病院、他の開業の先生と連携し紹介させて頂いています。

一次医療を担う診療所では病院との連携は欠かせません。特に医療センターとは地理的に近いこともあり、CT・MRI等の検査依頼や患者さんの紹介も頻繁にお願いしています。紹介は泌尿器科、皮膚科疾患のみならず、他科疾患でもお願いしています。

日頃、院長共々スタッフ一同心がけていることは、入りやすく受診しやすい医院であること、院内では病気以外のストレスを感じないでいられること、診察室では話やすく不安や疑問を表しやすいようにすることです。

今後も身近な医院として、地域医療の一翼を担いながら、日々誠実に診療にあたっていく所存です。



地域医療機関の先生方へ

救急外来への患者さんの紹介についてお願い

救急外来へご紹介いただく患者さんの状態は、一刻を争うことが多々あります。

正確な情報が必要となりますので、地域連携課を通さず、**代表電話(059-345-2321)**を通して、

救急外来担当医師と直接お話をさせていただきますようよろしくお願いいたします。

医療センターニュース

編集/三重県立総合医療センター広報編集委員会 <http://www.mie-gmc.jp/>

〒510-8561 四日市市大字日永5450-132 TEL(059)345-2321(代表) E-mail:sogohos@mie-gmc.jp



消防訓練を実施しました

当院では、万一の火災の際に、職員が適切な対応を行うため、1年に2回消防訓練を実施しています。

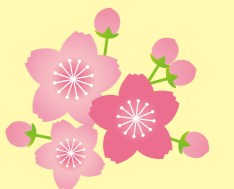
3月8日(火)に、適切な初期消火や非常階段を使用した避難誘導などについて、3階東病棟での火災を想定した実践的な訓練を行いました。

また、訓練に際し、四日市南消防署の方にお越しいただき、効率的な避難誘導を行うための方法や事前の備え、消火器の使用方法などについて指導をしていただきました。

今後も、万一の際に患者さんや来院者の方の安全を確保するための取り組みを継続していきます。

もくじ

- 消防訓練を実施しました……………1
- 市民公開講座を開催しました………2
- 4月から「消化器外科」、「乳腺外科」を開設します…2
- おくすりについて「薬の飲み合わせ」……………3
- 非常勤職員を募集します!……………3
- 当院の協力病院(連携医療機関)紹介 はしもと泌尿器科 皮フ科………4



市民公開講座を開催しました!



3月5日(土)の午後、当院1階エントランスホールにおいて、「みんなで支えるがん治療」というテーマで市民公開講座を開催しました。

当日は、がんの早期発見のために必要な検査や、緩和ケア、病院での治療から在宅医療に至る連携などについて、外部講師を含む各専門スタッフが講演を行いました。

また、講演のほかにも、がんの治療や検査、緩和ケア等に関するブース展示や医療機器の体験コーナー、無料がん相談も併せて実施し、多くの方にご参加いただくことができました。

参加者の皆さんへのアンケートでは、「大変役立ち、勉強になった。」、「緩和ケアの内容がよくわかった。」、「毎年続けてほしい。」、「良い企画なので、もっと地域にPRしてはどうか。」など、お褒めの言葉をいただきました。

一方で、「講演会場の音声が聞き取りにくかった。」、「映像が見づらかった。」などのご意見もいただいたほか、ブース展示コーナーの閲覧時間を十分確保させていたことができなかったため、次回開催に向けて改善を図っていききたいと思います。



4月から「消化器外科」、「乳腺外科」を開設します

当院では、より専門的な医療を患者さんにご提供できるよう、4月から「消化器外科」、「乳腺外科」を開設します。

- 腹腔鏡下肝切除術等の高度な医療を提供できるよう、「消化器外科」を開設します。
- 4月から、日本乳癌学会専門医が当院の常勤医師として赴任しますので、専門医の常勤化に伴い「乳腺外科」を開設し、より専門的な治療を行います。

また、どの専門科の領域なのかかわからない患者さんや、いくつもの疾患を抱えている患者さんに的確に対応し、安心かつ質の高い医療をご提供できるよう、従来の「内科」を「総合内科」と改め、4月から、毎日「総合内科外来」を開設します。

県立総合医療センターの基本理念・基本方針

基本理念

- 1 救命救急、高度、特殊医療等を提供することにより、県の医療水準の向上に貢献します。
- 2 安全・安心で互いにささえあう社会の実現に向けて医療面から貢献します。

基本方針

- 1 患者の皆様の権利を尊重し、信頼と満足の得られるチーム医療を提供します。
- 2 県の基幹病院として医療水準の向上に努めるとともに、医療人材の育成に貢献します。
- 3 県内医療機関との連携を強化し、地域医療の充実に努めます。
- 4 職場環境を改善し、職員のモチベーションの向上に努めます。
- 5 責任と権限を明確にした自律的・自主的な経営を行います。



薬の飲み合わせ

薬は病気を治すために必要なものですが、複数の薬を服用した場合に、必要以上に強く効いたり、反対に効きにくくなったりすることがあります。これを薬の「飲み合わせ(相互作用)」と言います。組み合わせによっては、体調を崩すこともあったり、薬が効かずに治療の効果がなくなったりすることもあるので、注意が必要です。



医療用医薬品に限らず、漢方薬やハーブ、サプリメントでも相互作用が起こることが知られています。麻黄という成分を含む風邪や咳止めに用いられる漢方薬、ハッピーハーブとして売られているセイヨウオトギリソウ、ダイエットサプリメントとして宣伝されているフォルスコリンなどの併用で、狭心症や心筋梗塞を起こした事例も報告されています。

ご自身でできる薬の飲み合わせの予防策として、次のような方法を知っておきましょう。

(1) 服用している薬について知る

定期的に薬を服用している方は、一緒に飲んではいけない薬の種類を医師から聞いておきましょう。市販薬やサプリメントの注意点を確認しておくことも大切です。



(2) 「お薬手帳」を活用する

市中の薬局で「お薬手帳」を受け取り、ご自身が服用されている薬を記録することも良い方法です。他の医療機関を受診する場合でも、「お薬手帳」を持参すれば服用中の薬がすぐにわかります。使用中のサプリメントなども合わせて記録しておくことで便利です。



(3) 服用している薬を告げる

他の医療機関を受診する場合は、服用中の薬について必ず医師に告げるようにしましょう。「お薬手帳」がなく、薬の名前を覚えていない時は、薬の実物を持っていくことで対応ができます。



非常勤職員を募集します!

現在、院内で働いていただく非常勤職員を次のとおり募集しています。ご興味のある方は、事務局総務課(TEL:059-345-2321 大西)までご連絡ください。

募集職種 言語聴覚士、診療放射線技師、臨床検査技師、ヘルパー、看護助手

勤務日数 土曜日、日曜日、祝日を除き月18日勤務
※ヘルパー、看護助手は別途相談

募集人数 若干名

勤務時間 8:30~17:15(昼1時間休憩)
※ヘルパー、看護助手は別途相談(スライド勤務)

免許資格 言語聴覚士免許、診療放射線技師免許、臨床検査技師免許、ホームヘルパー2級
※看護助手は特に必要ありません。

その他 通勤手当支給、社会保険・雇用保険
労働災害保険加入

賃金 1日8,030円~11,510円
(実働に応じて時間外手当支給)